

2020年12月

お得意様各位

奈良県中央生コンクリート協同組合

暑中コンクリート対策に関する報告

標記について、荷卸し時のコンクリートの温度は、現時点においても多くの仕様書等が、「原則 35℃以下」とされているところです。また一部仕様書等においては、近年の気候条件等を鑑み、「これにより難しい場合は、監督職員と協議する」こととなっています。

奈良県中央生コンクリート協同組合加盟社も「2013年」以降、室内試験・実機試験を実施し、「暑中コンクリート工事対策マニュアル 2018(日本建築学会 近畿支部)」3-3に記載されているように、実験参加工場として参加させていただいております。

また、木津生コンクリート工業㈱は、同書籍 付 3-87 表-4.2 に 2019 年実施予定となっている通り、昨年度暑中期において「暑中コンクリート工事対策マニュアル 2018(日本建築学会 近畿支部)」にすでに記載されている 7 工場と同様の室内実験及び実機実験をおこない、スランプ保持性能・凝結・硬化性状等を確認しております。

よってここに、当協同組合加盟社 下記工場が「暑中コンクリート工事対策マニュアル 2018(日本建築学会 近畿支部)」に準じた室内実験及び実機実験における要求事項を満足していることを御報告いたします。

<加盟社 対象工場一覧>

株式会社 ウエヒラ	木津生コンクリート工業 株式会社
五條生コン 株式会社	さくら生コン 株式会社
奈良レミコン 株式会社	株式会社 吉田生コンクリート
奈良生駒生コン株式会社 (旧： 株式会社 生コン協同)	有限会社 コーシンコーポレーション 山政生コン

最後に、当協同組合加盟工場から製品をご購入並びに暑中期対策協議の際には、「暑中コンクリート工事対策マニュアル 2018(日本建築学会 近畿支部)」の 4 章ブリーフィング(事前協議) 及び、「本紙」を用いての事前性状確認簡略化にご活用の上、設計段階・施工段階・施工計画書への反映をお願い致します。

以上